

意向調査について①

	郵送調査	インターネット調査		街頭調査
規模	札幌市民 10,000人	5,000人		2,500人 (札幌市民・北海道民) ※新型コロナウイルスの 感染状況により 変更の場合あり
対象	住民基本台帳から 満18歳以上を 無作為抽出	札幌市民 2,000人	北海道民 (札幌市民除く) 3,000人	市内・道内の映画館 のブース来場者
時期	3月2日(水)～11日(金)	3月7日(月)～14日(月)		3月上旬開始

■設問内容

- 札幌市が大会を開催することへの賛否
- 賛否に係る理由
- 大会概要（案）に掲げる開催意義や施設整備費、大会運営費等の考え方

子どもたち・学生の声の把握

■子どもたちの声の把握

教育委員会が実施する、市内小中高生を対象とした「オリンピック・パラリンピックについての学習振り返りアンケート」にて、オリンピック・パラリンピックに対する思いを把握

■学生の声の把握

北海道内の大学・短期大学・専門学校を対象に、大会概要（案）の周知のほか、招致に係るアンケートを実施

皆さまからの意見募集

意向調査の対象者以外の方についても、
今後の計画検討の参考とするため、随時意見を募集

■応募方法

はがき・ファクス・Eメールにて、
スポーツ局招致推進部調整課へ意見を送付

郵送先：〒060-0002

中央区北2条西1丁目ORE札幌ビル9階

ファクス：011-211-3048

Eメール：olypara@city.sapporo.jp

●2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する意向調査について

2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を進めるに当たり、大会概要（案）の見直しや招致活動の参考とするため、市民・道民を対象とした意向調査を実施します。

多くの市民・道民の皆さまからの意見をお聞きし、今後の計画検討を進めてまいりますので、調査対象となりました市民・道民の皆さまにおかれましては、ご回答へのご協力をお願いいたします。

1 意向調査の趣旨

2030年冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の招致を進めていくには、多くの札幌市民・北海道民の賛同を得ることが重要であることから、その意向を確認するために調査を実施。今回の意向調査では、賛否を問うだけでなく、その理由も尋ねることにより、大会への期待や懸念の声をより適切に把握し、今後の計画反映の参考とする。

2 調査の手法および設問内容

(1) 調査手法

	郵送調査	インターネット調査		街頭調査
規模	札幌市民 10,000人	5,000人		道民含む 2,500人を想定 ※新型コロナウイルスの感染状況により変更あり
		札幌市民 2,000人	道民（札幌市民除く） 3,000人	
対象	満18歳以上を 無作為抽出	20代以下～60代以上の 5世代×男女＝10区分		市内・道内の映画館の ブース来場者
時期	3月2日(水)～11日(金)	3月7日(月)～14日(月)		3月上旬開始

(2) 設問内容

- ① 大会概要（案）に掲げる開催意義や施設整備費、大会運営費等の考え方
- ② 札幌市が大会を開催することへの賛否とその理由

3 子どもたち・学生の声の把握

(1) 子どもたちの声の把握

教育委員会が実施する、市内小・中・高校生を対象とした「オリンピック・パラリンピック教育についての学習振り返りアンケート」内で、オリンピック・パラリンピックに対する思いを把握。

(2) 学生の声の把握

北海道内の大学・短期大学・専門学校の学生を対象に、大会概要（案）の周知および大会招致に係るアンケートを実施。

4 その他

意向調査の対象者以外についても大会招致に係る意見を募集中。意見については、スポーツ局招致推進部調整課へはがき（〒060-0002 中央区北2条西1丁目 ORE 札幌ビル9階）・ファクス（211-3048）・Eメール（olypara@city.sapporo.jp）にて送付。

問い合わせ先

スポーツ局招致推進部調整課 北川、宮川
電話：211-3042、ファクス：211-3048